

資生堂 ジャポニスム 2018 3 企画へ参画

～日本文化を背景にもつ美の概念を文化大国フランスから提唱～

資生堂は、日仏友好 160 年を記念して日仏両政府の主導でパリを中心に開催している日本文化・芸術の祭典「ジャポニスム 2018: 響きあう魂※1」(事務局:独立行政法人国際交流基金。以下、「ジャポニスム 2018」)のオフィシャルサポーターとして、9 月に着物と伝統芸能を融合させたショー並びに、10 月には日本をテーマとしたアジア芸術展への協賛を実施しました。11 月以降も引き続き3つの企画に参画いたします。「ジャポニスム 2018」での公式企画や特別企画へ参画するのみならず、自ら参加企画を制作、実施することで、資生堂は世界的な文化大国・フランスにおいて西欧からの文化と日本の文化を融合した美の概念を提案し、中長期戦略「VISION 2020」で掲げている美のイノベーションによる新たな価値創造を実現してまいります。

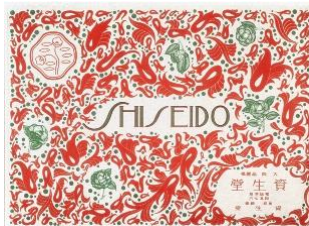
※1:公式ウェブサイト <https://japonismes.org/>

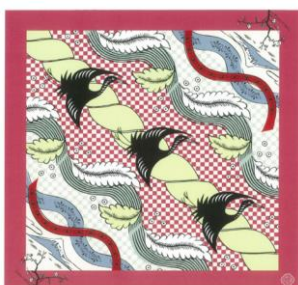


参画する趣旨

当社は創業以来培ってきた企業文化の認知度向上、並びにプレゼンス強化にグローバルレベルで取り組んでおります。芸術の都と呼ばれ、当社欧州事業の拠点でもあるパリを中心に、EMEA 地域本社と協業し当社の美意識を体感していただきます。資金的な協賛のみならず、幅広い層に向け日本を背景にもつ美を発信することにより、伝統的且つ、先進的な企業ブランドイメージを醸成していきます。

参画する企画 概要

名 称	装飾美術館「ジャポニスムの 150 年」展(公式企画)		
開催期間	2018 年 11 月 15 日(木)～2019 年 3 月 3 日(日)		
会 場	パリ装飾美術館 (住所 107, rue de Rivoli, Paris)		
企画内容	19 世紀後半から現代までの 150 年にわたる日仏両国の芸術上相互に与え合ってきた影響に焦点をあてながら、発見者、自然、時間、革新、動きという 5 つのテーマに沿って展開され、美術工芸品からプロダクト・デザイン、グラフィックアート、ファッション、写真も含めて幅広い芸術作品がジャンルを横断して展示。 具体的には、パリ装飾美術館の 10,000 点を数える日本美術コレクションから厳選された作品を中心に、日本から貸し出される作品、日本の影響を受けて欧州で制作された作品を加えて構成される。		
参画内容	・資生堂が収蔵する歴史的な企業文化資料・商品の貸し出し、展示 ・オープニングセレモニーでのレセプション開催		
展示会場 展示作品	 ©2006 Luc Boegly luc.boegly@wanadoo.fr		
	パリ装飾美術館(外観)	資生堂包装紙／沢令花(1927 年)	香水「花椿」(1917 年)

名 称	パリ東京文化タンドム 2018 FUROSHIKI PARIS(特別企画※2) ※2:姉妹都市である東京都とパリ市が共催		
開催期間	① 2018 年 11 月 1 日(木)～11 月 6 日(火) ② 2018 年 11 月 2 日(金)、10 日(土)、17 日(土)、24 日(土)		
会 場	① パリ市庁舎前広場 (住所 Place de l' Hôtel de Ville, Paris) ② パリ日本文化会館 (住所 101 bis quai Branly, Paris)		
企画内容	「世界初のエコバッグ」とされる風呂敷を、デザイン性の高い日本文化のシンボルとして紹介する企画。「風呂敷のアート」というテーマで、日仏のアーティストによる風呂敷イベントや展覧会が開催される。パリ市庁舎前には、巨大な風呂敷で包まれた仮設パビリオンが設置され、パリ日本文化会館においては、風呂敷の魅力や使い方を伝えるワークショップに使う風呂敷を資生堂のクリエイターがデザインするほか、資生堂オリジナル風呂敷 20 点を展示する。		
参画内容	・資生堂がデザインしたオリジナル風呂敷を提供し、ワークショップに参画		
展示作品			
	「かさね」/近藤 香織	「日仏和合模様」/長谷 麻子	「椿の水引」/松石 翠

名 称	資生堂 ジャパニーズ ビューティー ステーション(協賛企画※3) ※3:ブランド SHISEIDO 主催企画をジャポニスム参加企画として申請中		
開催期間	2018 年 11 月 22 日(木)～12 月 2 日(日)		
会 場	マレ地区 (住所 18 rue de Turenne, Paris)		
企画内容	昨年創刊 80 周年を迎えた企業文化誌『花椿』。それぞれの時代の空気が色濃く反映されたヴィジュアルを通じて、日本の美容とファッション、カルチャーの変遷を紹介する。会場では、これまでの『花椿』の表紙を壁一面に掲出したウォールや特別編集のデジタル版『花椿』の展示、さらには「五感で感じる日本の美」に関連したワークショップ等も開催予定。資生堂や日本の美意識を立体的に感じられるイベントとする。		
企画ロゴ 展示作品			
	企画ロゴ	『花椿』創刊号(1937 年)	『花椿』最新号(2018 年冬号)